

SUMILON®

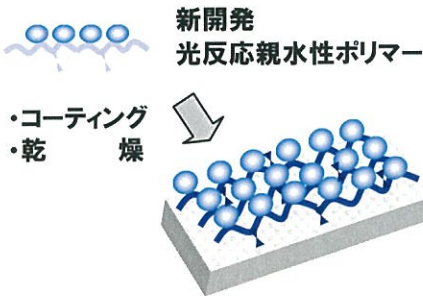
スミロンプロテオセーブ®SS

蛋白質の吸着を抑制！！

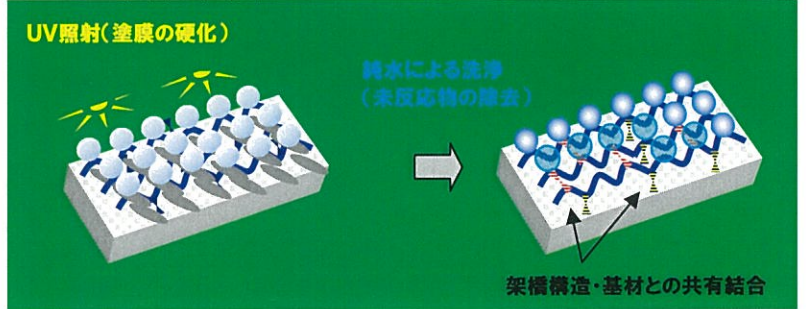


スミロンプロテオセーブ®SSはSUMILON®が独自に開発した親水性ポリマーによる表面処理より、プラスチック表面を超親水性にし、蛋白質の疎水性相互作用による吸着を抑制することができます。これにより、蛋白質構造解析分野などで容器への吸着が原因で十分な結果が得られなかった微量蛋白質試料の同定を容易にします。

1. 表面処理技術



スミロン独自の表面処理



2. 耐薬品性・耐熱性(※注1)

有機溶媒	1H			5H		
	10%	50%	100%	10%	50%	100%
メタノール	○	○	○	○	○	○
エタノール	○	○	○	○	○	○
2-プロパノール	○	○	○	○	○	○
グリセロール	○	—	—	○	—	—
アセトニトリル	○	○	○	○	○	○
アセトン	○	○	○	—	—	—
DMSO	○	—	—	○	—	—
2-メルカプトエタノール	○	—	—	○	—	—

○:問題なし
—:未確認
×:劣化する

耐熱性/耐寒性	10min	30min	24h	6month
120℃(オートクレーブ)	—	×	—	—
100℃(ボイル)	○	—	—	—
60℃	○	—	○	—
40℃	○	—	○	—
-4℃	—	—	—	○
-80℃	—	—	—	○

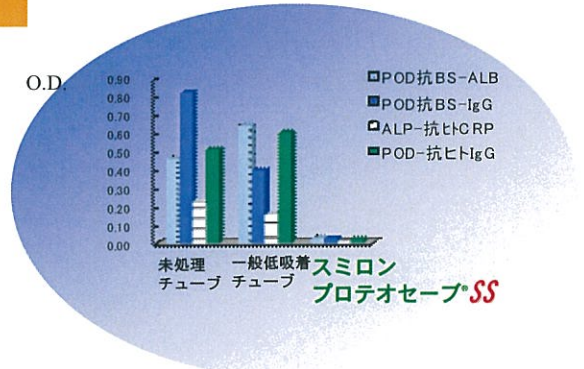
(※注1:耐薬品性・耐熱性の対象は0.5mL~1.5mLPP製チューブのみです。)

界面活性剤	0.1%	1.0%
CHAPS	○	—
TritonX	○	—
Tween20	○	—
SDS	—	○

3. 蛋白質吸着性比較

3.1 試験条件:リン酸緩衝液で0.1~0.8µg/mlに希釈した各種酵素標識抗体溶液を分注後、37℃で1時間インキュベートした後にリン酸緩衝液で洗浄し、容器に残留した酵素標識抗体を基質の発色量で測定。

スミロンプロテオセーブ®SSはいずれの蛋白質に対しても吸着性は低くおさえられています。



詳しくはホームページをご覧ください。